

概 要 版

平成 27 年度一宮市アンケート調査集計結果（転入・転出者向け）

調査対象者：一宮市で転入・転出の手続きをされた方

調査期間：平成 27 年 5 月 1 日～6 月 30 日

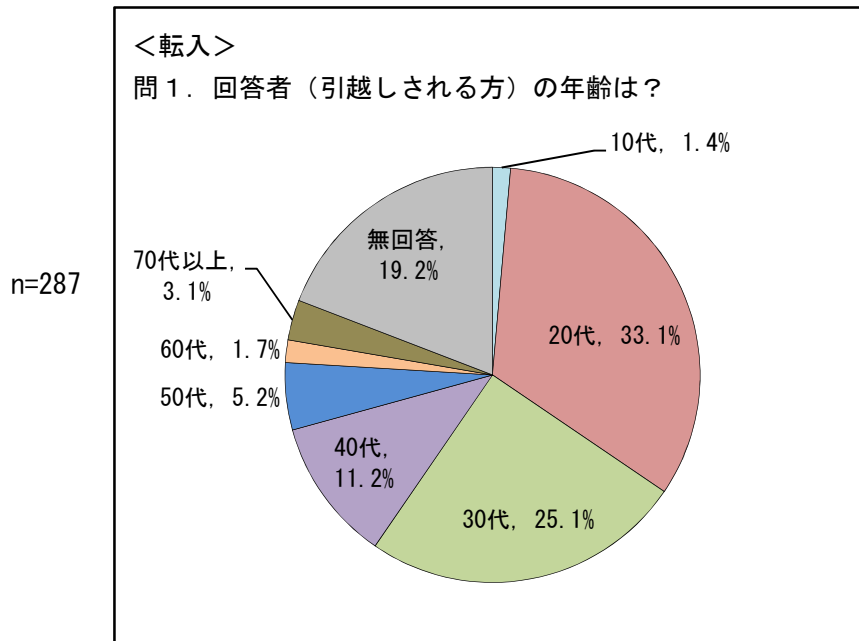
総回答者数：419 人（転入 287 人，転出 132 人）

- ・ n は、質問に対する無回答を含む集計対象総数で算出割合の基準です。
各グラフの左端に n の値を表記しています。
- ・ 割合は、n に対する各回答数の百分率（%）です。小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表記しています。

■転入者編（回答数 287 人）

（1）年齢

回答者の年齢は、10 代 4 人（1.4%）、20 代 95 人（33.1%）、30 代 72 人（25.1%）、40 代 32 人（11.2%）、50 代 15 人（5.2%）、60 代 5 人（1.7%）、70 代以上 9 人（3.1%）となっています。



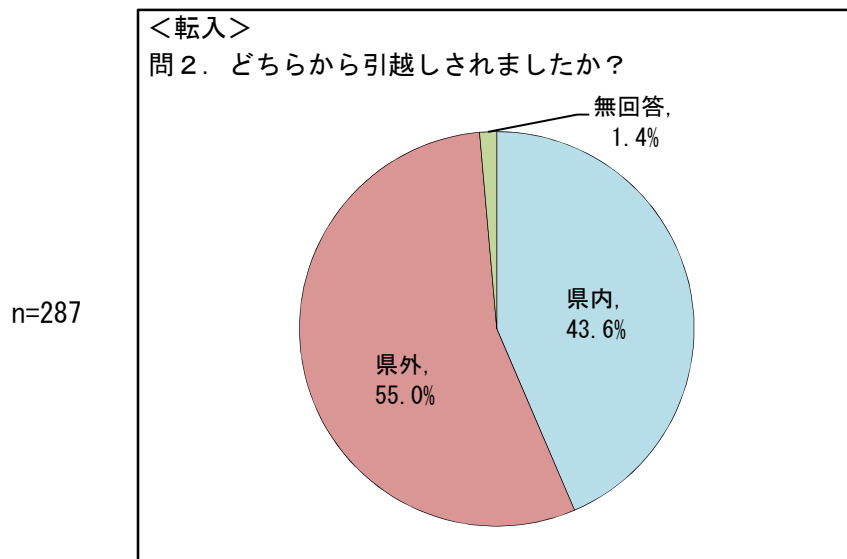
(2) 引越し(転入)前の住所

回答者の転入前の住所は、県内 125 人 (43.6%)、県外 158 人 (55.0%) となっています。

転入前の住所地をみると、県内では名古屋市からの転入が特に多く、次いで稲沢市をはじめ北名古屋市や江南市など近隣市町からの転入者が多くなっています。

県外では岐阜市からの転入が多く、県内・県外をあわせた全体でも名古屋市に次ぐ2番目となっており、また、県外の上位7市町の内、5市町が岐阜県内となっています。

これらの結果から、県内・県外を含め、隣接する市町を含む比較的近隣の地域からの転入が多いという傾向がみられます。



・ 県内の主な転入元

名古屋市	43
稲沢市	13
北名古屋市	7
江南市	7
岩倉市	5
瀬戸市	5
あま市	4
津島市	4
豊橋市	4
その他	33

(単位：人)

・ 県外の主な転入元

岐阜市	25
羽島市	7
大垣市	7
各務原市	5
横浜市	4
大阪市	4
笠松町	4
その他	102

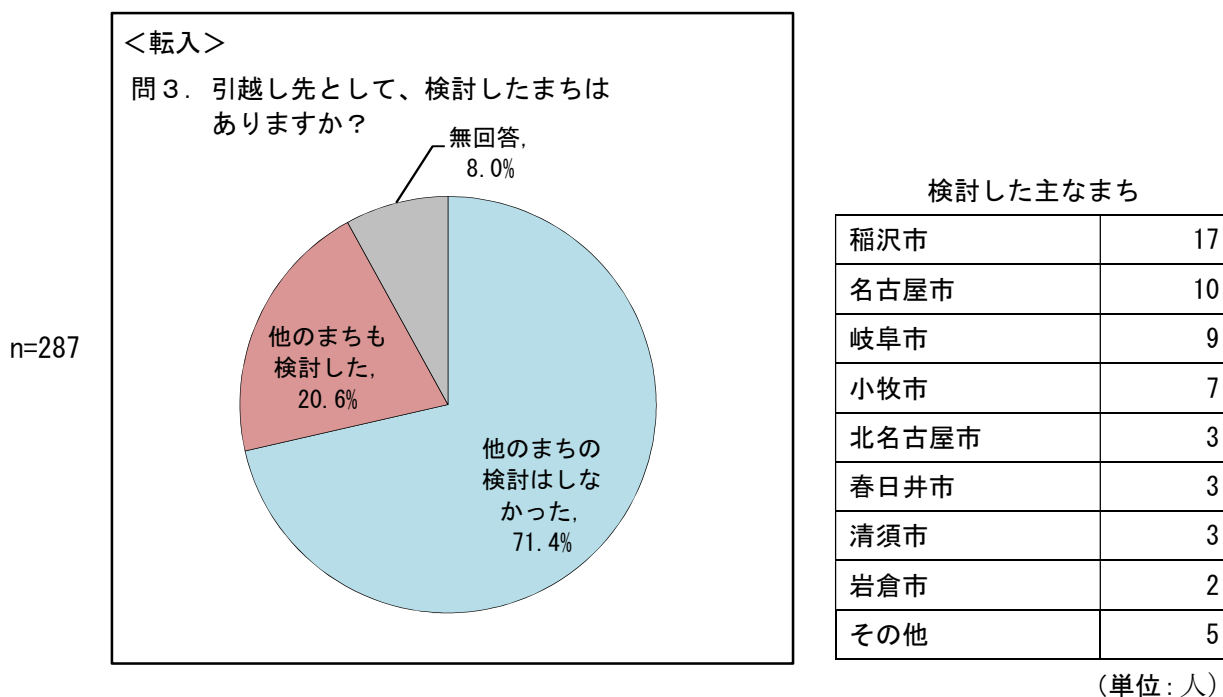
(単位：人)

(3) 引越し（転入）先の検討

一宮市に転入するにあたって、「他のまちの検討はしなかった」205人（71.4%）、「他のまちも検討した」59人（20.6%）となっています。

一宮市以外にも検討されたまちとしては、稲沢市17人、名古屋市10人、岐阜市9人、小牧市7人などがありました。（複数回答あり）

無回答の方を除くと、引越し先として約7割の方は一宮市だけを検討していますが、約2割の方は一宮市以外の市町も検討されています。検討された市町は隣接する市町以外の地域も多く、引越し先の選択肢も多岐にわたっていることがわかります。また、これらの方々は、条件が折り合わなければ一宮市以外になったことも推測されます。



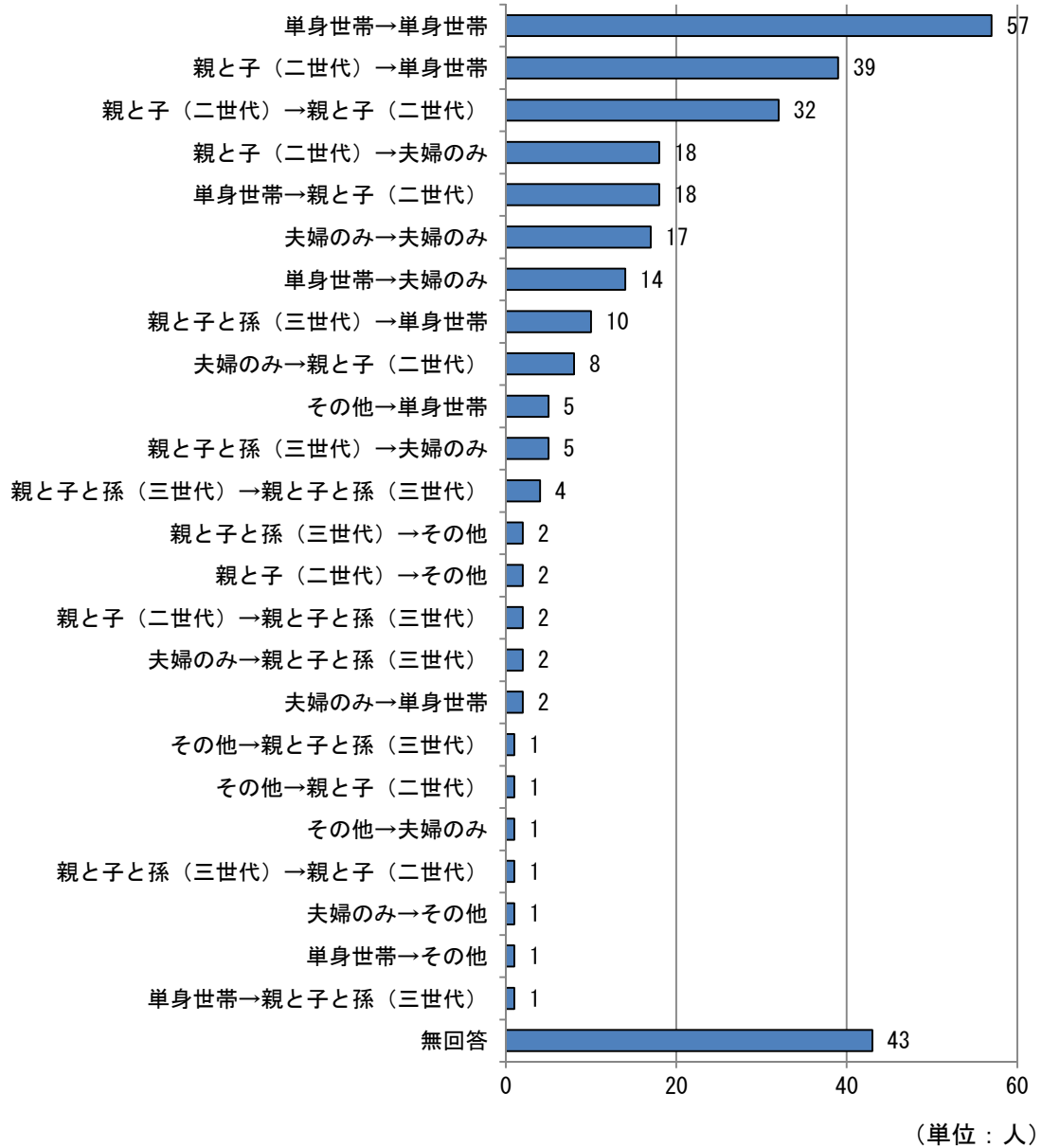
(4) 引越し（転入）にともなう世帯構成の変化

引越し前と引越し後の世帯構成の比較では、「単身世帯→単身世帯」57人（19.9%）が最も多く、「親と子（二世帯）→単身世帯」39人（13.6%）、「親と子（二世帯）→親と子（二世帯）」32人（11.1%）と続いています。

今回の調査では無回答を除く転入244世帯のうち、単身世帯が113世帯となり、全体の約46%となっています。また、夫婦のみの世帯も55世帯で全体の約23%となっており、単身世帯・夫婦のみの世帯を合わせると全体の約7割を占める結果となり、子どもの異動を伴わない少人数での転入が多いという特徴がみられます。

<転入>

問4. 引越しに伴い、家族構成に変動はありましたか？



n=287

n=244

転入後 転入前	1. 単身世帯	2. 夫婦のみ	3. 親と子 (二世代)	4. 親と子と孫 (三世代)	5. その他	計
1. 単身世帯	57	14	18	1	1	91
2. 夫婦のみ	2	17	8	2	1	30
3. 親と子 (二世代)	39	18	32	2	2	93
4. 親と子と孫 (三世代)	10	5	1	4	2	22
5. その他	5	1	1	1	0	8
計	113	55	60	10	6	244

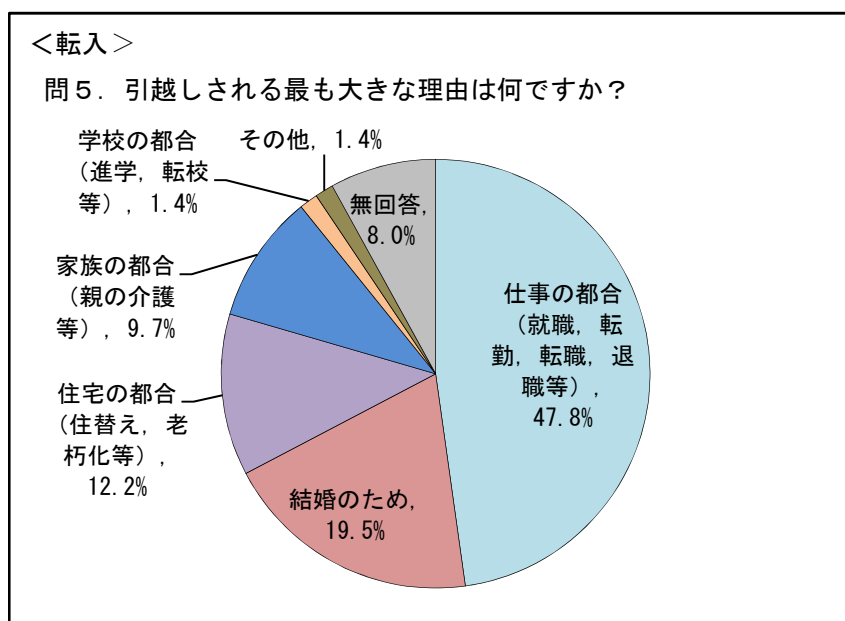
(単位：人)

(5) 引越し(転入)の理由

一宮市に転入する人の引越しの理由は、仕事の都合 137 人(47.8%)、結婚のため 56 人(19.5%)、住宅の都合 35 人(12.2%)、家族の都合 28 人(9.7%)、学校の都合 4 人(1.4%)、その他 4 人(1.4%)となっています。

引越し(転入)の契機となった理由は、就職、転勤など仕事の都合によるものが全体の約半数を占めていますが、結婚や家族の都合、住み替えなどの住宅事情によるものも約4割を占めており、生活環境が大きく変わる時期に引越しをされていることがわかります。

n=287



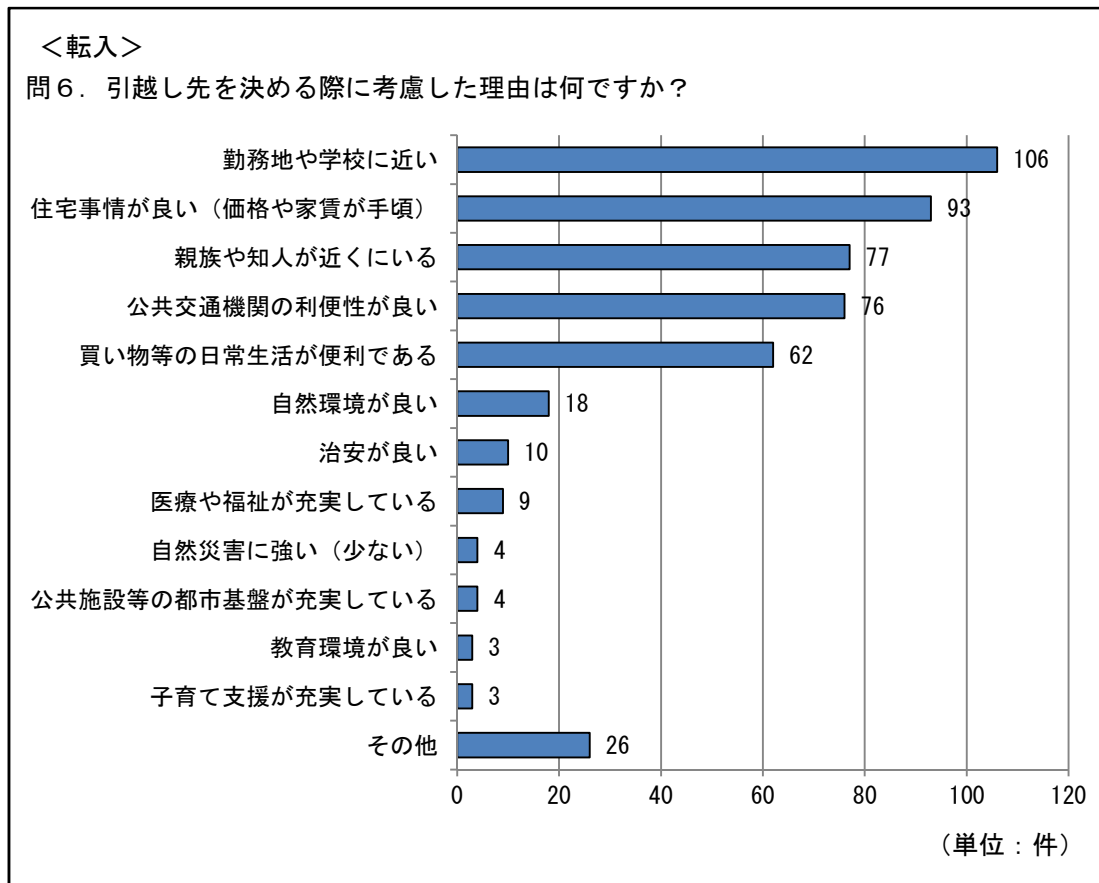
(6) 引越し（転入）先を決める際に考慮したこと

一宮市に転入することを決める際に考慮したことは、「勤務地や学校に近い」106件(21.6%)が最も多く、「住宅事情が良い」93件(18.9%)、「親族や知人が近くにいる」77件(15.7%)、「公共交通機関の利便性が良い」76件(15.5%)、「買い物等の日常生活が便利である」62件(12.6%)と続いています。(複数回答あり)

引越し先を決める際に考慮した理由からは、価格や家賃などの住宅事情も大きな要因となっていますが、勤務地等に近い、公共交通機関や買い物等が便利、親族や知人が近くにいるなど、利便性を重視した理由が上位を占めています。

毎日の生活における利便性が、引越し先の選択に非常に大きな影響を与えている点は、特に意識していく必要があります。

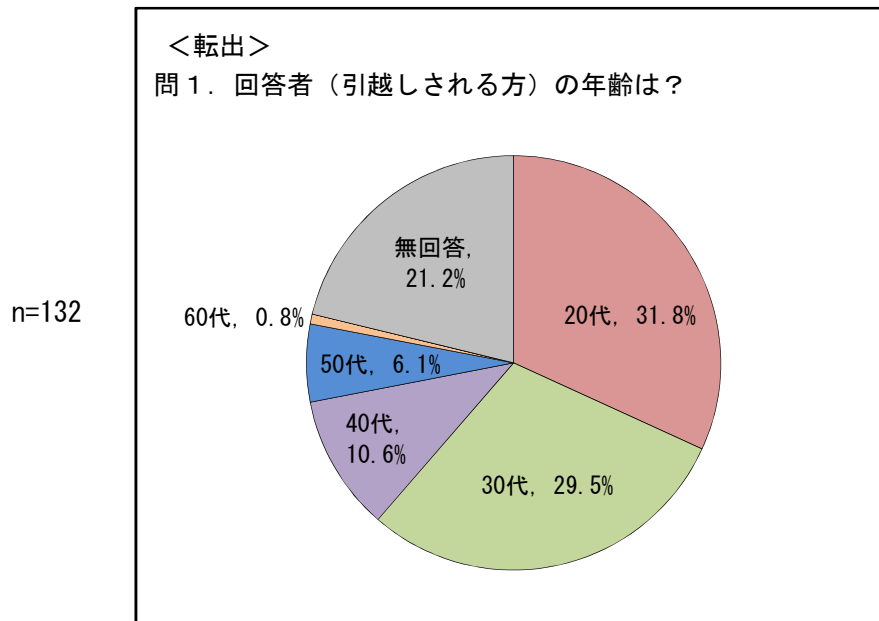
n=491



■転出者編（回答数 132 人）

（1）年齢

回答者の年齢は、20代 42人（31.8%）、30代 39人（29.5%）、40代 14人（10.6%）、50代 8人（6.1%）、60代 1人（0.8%）、10代と70代以上の回答者はありませんでした。



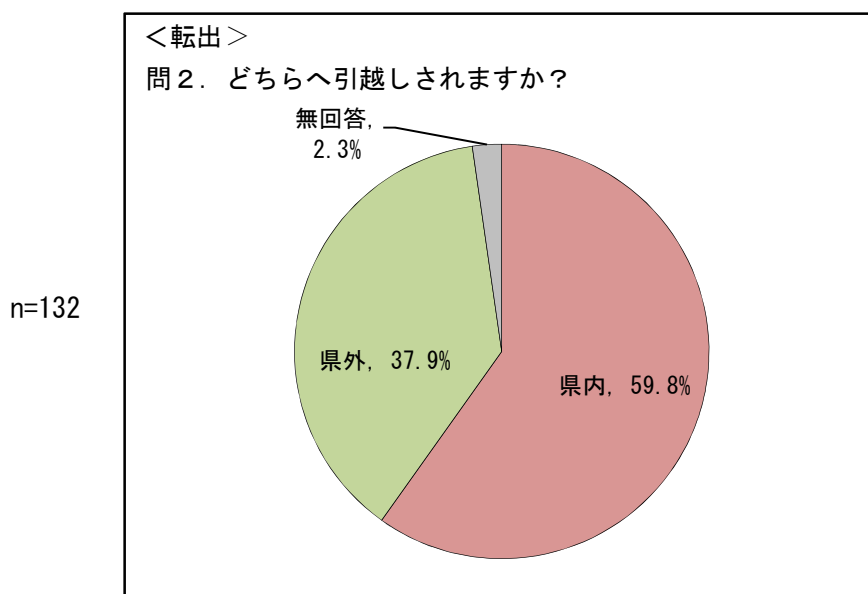
(2) 引越し（転出）先の住所

回答者の引越し（転出）先の住所は、県内 79 人（59.8%）、県外 50 人（37.9%）となっています。

転出する人の主な引越し（転出）先としては、名古屋市 25 人、稲沢市 9 人、春日井市 6 人、北名古屋市 4 人、あま市 4 人、江南市 4 人となっています。（複数回答あり）

転入者へのアンケートでは県外からの転入が多いという結果となっていますが、転出者へのアンケートでは逆に県内への転出が多いという結果となりました。

県外への転出先では関西や関東地方など遠方への転出もみられますが、岐阜県内への転出が多くみられ、県内への転出も含め比較的近隣の地域への転出が多いという結果となりました。



・ 県内の主な転出先

名古屋市	25
稲沢市	9
春日井市	6
北名古屋市	4
あま市	4
江南市	4
清須市	3
岩倉市	3
津島市	3
その他（尾張地域）	6
その他（三河地域）	7
その他（知多地域）	5

(単位：人)

・ 県外の主な転出先

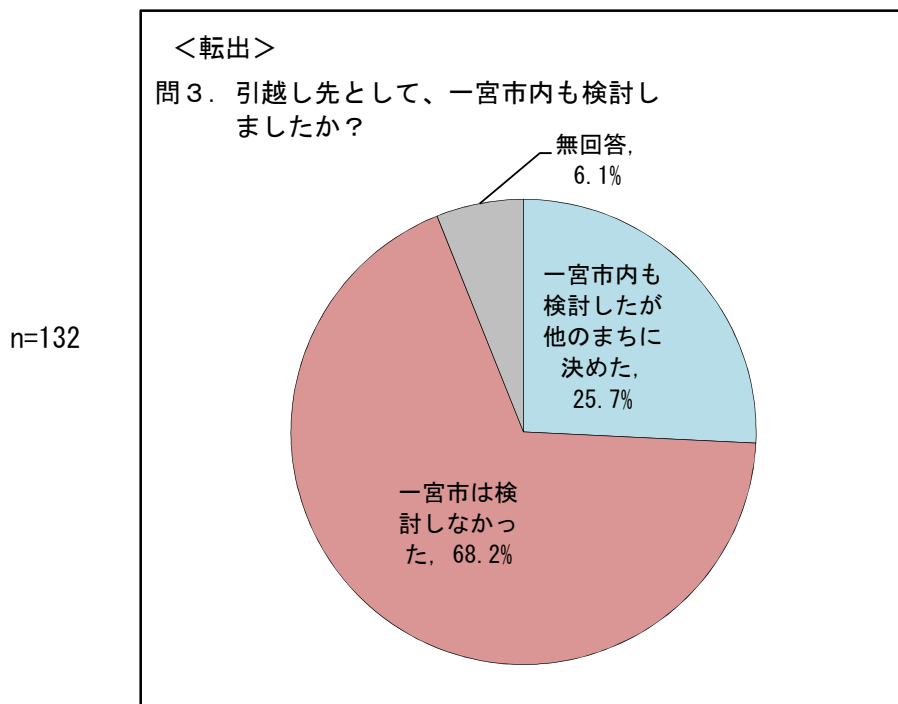
羽島市	3
各務原市	2
松阪市	2
静岡市	2
その他（岐阜県）	13
その他（関西地方）	8
その他（関東地方）	7
その他（東海地方）	5
その他（三重県）	4
その他（東北地方）	2
無回答	2

(単位：人)

(3) 引越し（転出）先の検討

引越し（転出）先を決めるにあたって、「一宮市も検討したが他のまちに決めた」34人（25.7%）、「一宮市は検討しなかった」90人（68.2%）となっています。

転出先を決める際には、約25%の方が一宮市内に残ることも検討していることが分かりました。実際の転出先からも分かるように近隣地域への転出が多いことから、引越し先として一宮市内に残ることも選択肢にあったかもしれません。こうした方々が市内に残ることを選択していただくことにより、市外への転出を抑制する効果も期待できます。

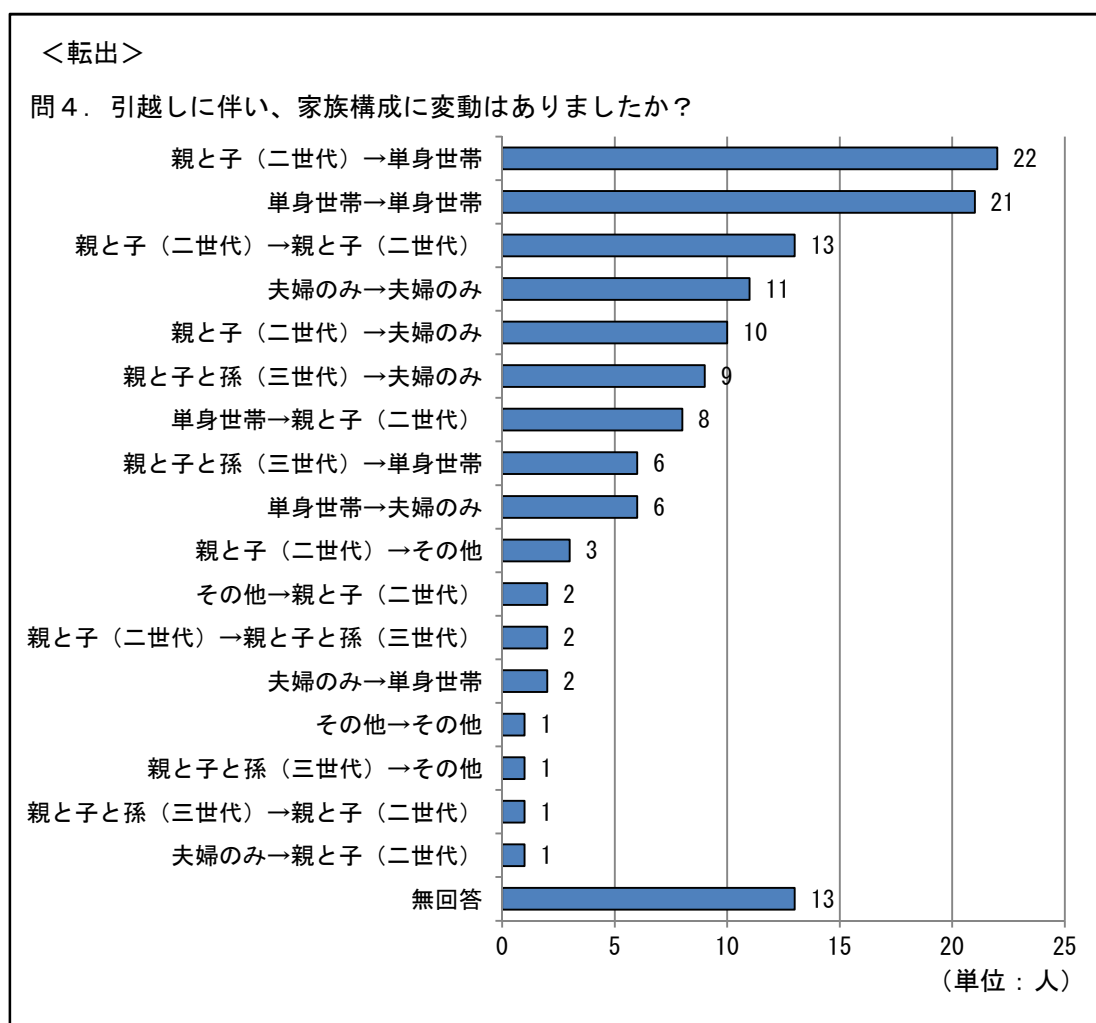


(4) 引越し（転出）にともなう世帯構成の変化

引越し前と引越し後の世帯構成の比較では、「親と子（二世帯）→単身世帯」22人（16.7%）が最も多く、「単身世帯→単身世帯」21人（15.9%）、「親と子（二世帯）→親と子（二世帯）」13人（9.8%）と続いています。

無回答を除く転出119世帯の一宮市での世帯構成をみると、親と子の二世帯世帯が50世帯と最も多く全体の約42%となっています。また、親と子と孫の三世帯世帯が17世帯、約14%であり、この2つをあわせると全体の半数以上となる約56%となります。

単身・夫婦のみの世帯が約7割を占める転入時の結果とは異なり、転出の際は、子どもの異動を伴う家族での転出が半数を超えるという結果となっています。



n=132

n=119

転出後 転出前	1. 単身世帯	2. 夫婦のみ	3. 親と子 (二世代)	4. 親と子と孫 (三世代)	5. その他	計
1. 単身世帯	21	6	8	0	0	35
2. 夫婦のみ	2	11	1	0	0	14
3. 親と子 (二世代)	22	10	13	2	3	50
4. 親と子と孫 (三世代)	6	9	1	0	1	17
5. その他	0	0	2	0	1	3
計	51	36	25	2	5	119

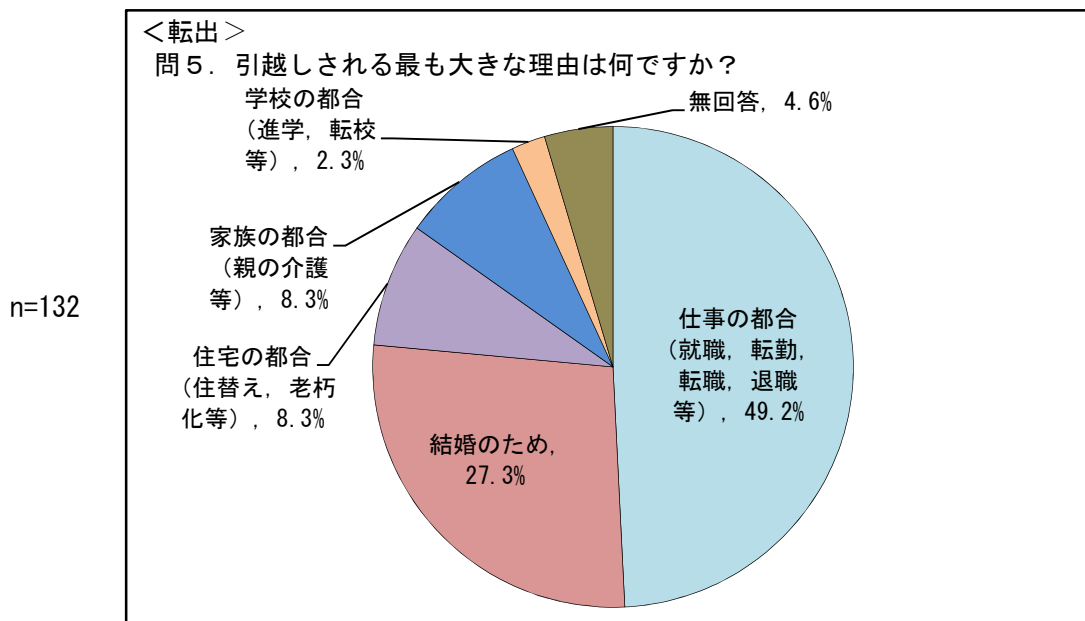
(単位：人)

(5) 引越し(転出)の理由

一宮市から転出する人の引越しの理由は、仕事の都合 65 人 (49.2%)、結婚のため 36 人 (27.3%)、住宅の都合 11 人 (8.3%)、家族の都合 11 人 (8.3%)、学校の都合 3 人 (2.3%) となっています。

転出する際の理由としては、仕事の都合がもっとも多く約半数を占め、次いで結婚、住宅の都合、家族の都合となっており、これは転入時における理由とほぼ同じ傾向となっています。

しかしながら、結婚のためとする理由は、転入時では全体の 19.5%であったのに対し、転出時では 27.3%となっており、転入時よりも 7.8 ポイント高い数値となっています。この数値からは、結婚を契機に一宮市へ転入する方よりも、結婚を契機に市外へ転出する方の割合のほうが高いという特徴がみられます。

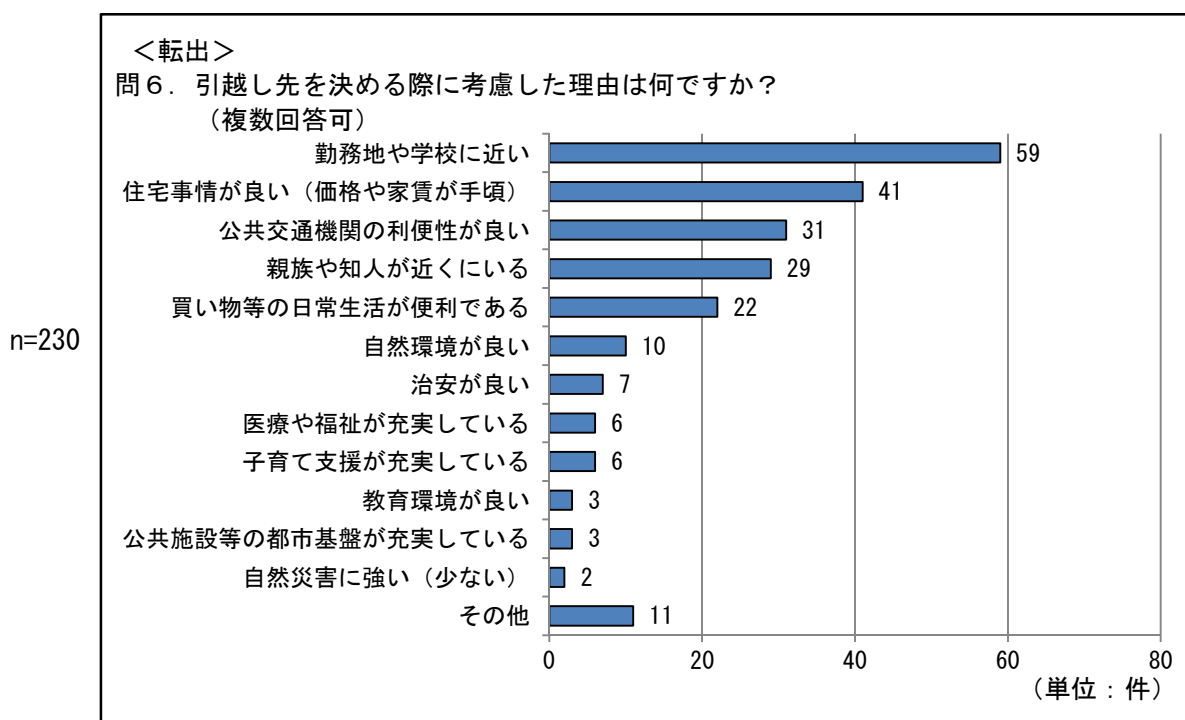


(6) 引越し（転出）先を決める際に考慮したこと

一宮市から転出することを決める際に考慮したことは、「勤務地や学校に近い」59件（25.7%）が最も多く、「住宅事情が良い」41件（17.8%）、「公共交通機関の利便性が良い」31件（13.5%）、「親族や知人が近くにいる」29件（12.6%）、「買い物等の日常生活が便利である」22件（9.6%）と続いています。（複数回答あり）

転出先を決める際に考慮した理由からは、転入時に考慮した理由とほぼ同様、勤務地等に近い、公共交通機関や買い物等が便利、親族や知人が近くにいるなどの利便性を考慮した理由が上位を占め、価格や家賃などの住宅事情も大きな要因となっています。

転入時と転出時において大きな違いはみられず、いずれも日常生活における利便性もとても重視されているという結果となっています。



■自由意見（転入・転出）

今後の一宮市に対して自由意見を募りました。

主な分野の中では、「都市基盤の整備・施設の充実」に関する意見（18件）がもっとも多く、中でも本町商店街及び駅周辺の活性化や、公共交通機関の充実を求める意見が複数みられました。

そのほか、「保健・医療と福祉の充実」では子ども医療費の無料化、「生活環境の整備」では治安に関する不安などの意見（5件）が多くみられ、市の様々な施策に対する要望や期待などが寄せられました。

また、「その他」では一宮市の環境が良い、いつか一宮市に戻りたいなどの意見も多く寄せられました。

No.	主な分野	件数
1	保健・医療と福祉の充実	5
2	生活環境の整備	6
3	産業の振興	0
4	教育、文化の振興	2
5	都市基盤の整備・施設の充実	18
6	住民参加・コミュニティ活動の推進	0
7	その他	8

問7. 今後の一宮市に対して、ご意見がありましたらご自由にお書きください。	
1	保健・医療と福祉の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの福祉医療（医療費の無料化）を充実させてほしい。（3件） ・子育て支援に力を入れていただきたいです。 ・母子手帳がかわいくて嬉しかった。 	
2	生活環境の整備
<ul style="list-style-type: none"> ・一宮駅周辺の治安が悪い（心配）。（2件） ・周りが暗いので、改善できたらお願いしたいです。 ・信号無視、急な飛び出し等交通マナーが非常に悪い印象が強く、慣れませんでした。 ・カラスがゴミを漁るので対策を練ってほしいです。 ・一宮市の西の方の路上をキレイにして下さい。 	
4	教育、文化の振興
<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館最高でした。 ・昔ながらの教育の考えが浸透しているので、子どもの考えが統一的。 	
5	都市基盤の整備・施設の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・本町の商店街を活性化させてほしい。（5件） ・駅周辺の買物環境をもっと良く（営業時間の延長）してほしい。（2件） ・30年ぶりに帰って来ました。市街地の活性化を願わずにられません。 ・空き物件で集客が見込める店や施設（児童館、病院、ネットカフェ、簡易ホテルなど）にしてはいかがかと。 ・笹屋4丁目付近にスーパー等がほしい。 ・上下水道が整っていない。 ・市民サービス、道路の整備。 ・旧尾西地区にも注目してあげてください。 ・浅井町に通じる電車がほしい。 ・公共交通機関の充実、買物難民がいなくなるシステムを考えてほしい。 ・バスの停留所を増やしてほしい。 ・もう少し、バスの路線があれば便利かと思います。東西の足が少ない。 ・レンタサイクルなど、地方ならではの交通の不便さをカバーする移動手段の取りこみ。 	

問7. 今後の一宮市に対して、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

7 その他

- ・七夕まつりの期間が短くなってしまったのが残念。
- ・市民税が高い。
- ・1年間のみ移住だったのですが、環境はとても良いです。転出する事を悩んだけど、またいつか一宮に戻りたい。本当に楽しい街でした。今まで引っ越し沢山したけど、心に残る街だった。今までありがとうございました。又遊びに来ます。
- ・また来年戻ってくる予定ですので、よろしくお願いします。
- ・実家が一宮ですので、今後家を建てたりまた戻ってくるかもしれません。今後より一層よいまちづくりをよろしくお願いします。
- ・名古屋市と違って環境が良い、市役所の人々の態度が良いです。
- ・長年居住しましたが、とても良い地域ですよ。
- ・一宮市はいい街です。
- ・一宮市に住めてよかった。

～ アンケート調査にご協力ください ～

一宮市では、本市へ転入される方・本市から転出される方からご意見等をお聞きし、今後のより良いまちづくりに役立てるためアンケートを実施させていただいています。お答えいただいた内容は、本市の居住促進のための施策の基礎資料として統計的に処理・活用するのみです。アンケートの趣旨にご理解いただき、ご協力をお願いします。

なお、パソコン及びスマートフォンから右記のQRコードにアクセスし、回答いただくこともできます。

【URL】http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/division/chihososei/anketo.html



問1. あなた(引越しされる方)の年齢は？(該当する数字1つに○印)

- 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

●転入される方にお聞きします。
問2. どちらから引越しされましたか？
【引越し前】 都道府県 市区町村
【引越し後】 一宮市 []
例：本町2丁目、今伊勢町本神戸 ※大字まで
問3. 引越し先として、検討したまちはありますか？
1. 他のまちは検討せず、一宮市内だけで探した
2. 他のまちなも検討したが、一宮市内に決めた
具体的には？ []

●転出される方にお聞きします。
問2. どちらへ引越しされますか？
【引越し前】 一宮市 []
例：本町2丁目、今伊勢町本神戸 ※大字まで
【引越し後】 都道府県 市区町村
問3. 引越し先として、一宮市内も検討しましたか？
1. 一宮市内を検討したが、他のまちに決めた
2. 一宮市内は検討しなかった

問4. 引越しに伴い、家族構成に変動はありましたか？(該当する数字1つに○印)

●引越し前 1. 単身世帯 2. 夫婦のみ 3. 親と子(二世帯) 4. 親と子と孫(三世帯) 5. その他 []
●引越し後 1. 単身世帯 2. 夫婦のみ 3. 親と子(二世帯) 4. 親と子と孫(三世帯) 5. その他 []

問5. 引越しされる最も大きな理由は何ですか？(該当する数字1つに○印)

- 1. 仕事の都合(就職、転勤、転職、退職等) 2. 学校の都合(進学、転校等)
3. 結婚のため 4. 家族の都合(親の介護等)
5. 住宅の都合(住み替え、老朽化等) 6. その他 []

問6. 引越し先を決める際に考慮した理由は何ですか？(該当する数字に○印 ※複数回答可)

- 1. 住宅事情が良い(価格や家賃が手頃) 2. 勤務地や学校に近い
3. 公共交通機関の利便性が高い 4. 子育て支援が充実している
5. 買い物等の日常生活が便利である 6. 公共施設等の都市基盤が充実している
7. 医療や福祉が充実している 8. 教育環境が良い
9. 親族や知人が近くにいる 10. 治安が良い
11. 自然災害に強い(少ない) 12. 自然環境が良い
13. その他 []

問7. 今後の一宮市に対して、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

[]

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。回収箱へ投函してください(後日提出いただく場合は、下記までFAX又は郵送をお願いします。)

【お問い合わせ】 491-8501 一宮市本町2丁目5-6 一宮市役所 企画部地方創生室 TEL:85-7431 / FAX:73-9128